

事例番号:360254

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第四部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

経産婦

2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 37 週 2 日

6:25 陣痛発来のため搬送元分娩機関入院

4) 分娩経過

妊娠 37 週 2 日

7:57 人工破膜実施

胎児心拍数陣痛図で胎児心拍数 60-80 拍/分の徐脈を認める

8:03 内診で臍帯脱出を確認

8:35 臍帯脱出のため当該分娩機関に母体搬送され入院

8:40 経膈分娩

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:37 週 2 日

(2) 出生時体重 2800g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.04、BE -14.3mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 1 点、生後 5 分 4 点

(5) 新生児蘇生:人工呼吸(バック・マスク)、気管挿管、胸骨圧迫

(6) 診断等:

出生当日 重症新生児仮死

(7) 頭部画像所見:

生後 11 日 頭部 MRI で低酸素性虚血性脳症の所見

6) 診療体制等に関する情報

〈搬送元分娩機関〉

(1) 施設区分:診療所

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 1 名

看護スタッフ:助産師 4 名、看護師 2 名

〈当該分娩機関〉

(1) 施設区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 4 名、小児科医 3 名、麻酔科医 3 名

看護スタッフ:助産師 3 名

2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、臍帯脱出による胎児低酸素・酸血症によって低酸素性虚血性脳症を発症したことであると考えられる。

(2) 臍帯脱出の関連因子として、人工破膜の可能性はある。

(3) 臍帯脱出の発症時期は、妊娠 37 週 2 日 8 時 3 分頃であると考えられる。

3. 臨床経過に関する医学的評価 (2020 年 4 月改定の表現を使用)

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

(1) 搬送元分娩機関において、妊娠 37 週 2 日 7 時 53 分に経腹超音波断層法で臍帯の下垂がないこと、および 7 時 57 分に子宮口開大 8cm、児頭の固定(児頭の位置 Sp-1 から-2 cm)を確認し人工破膜を実施したことは選択肢のひとつである。

(2) 臍帯脱出を確認した後の助産師の対応(腔内に手を挿入して児頭を挙上、酸素投与、骨盤高位施行)は一般的である。

- (3) 臍帯脱出の診断後、高次医療機関(当該分娩機関)に母体搬送したことは選択肢のひとつである。
- (4) 当該分娩機関到着後、超音波断層法で胎児心拍数 60 拍/分以下の徐脈を認め、帝王切開の方針としたことは一般的である。
- (5) 妊娠 37 週 2 日 8 時 39 分に子宮収縮時に努責がかかり、子宮口全開大および児頭の下降(児頭の位置 Sp+2 cm)を認め、経膈分娩としたことは一般的である。
- (6) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。
- (7) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

3) 新生児経過

新生児蘇生(バッグ・マスクによる人工呼吸、気管挿管、胸骨圧迫)および重症新生児仮死のため当該分娩機関 NICU に入院としたことは、いずれも一般的である。

4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

1) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

(1) 搬送元分娩機関

なし。

(2) 当該分娩機関

なし。

2) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

(1) 搬送元分娩機関

急速遂娩が必要な場合に可及的速やかに児娩出が行えるよう、自院での緊急帝王切開を含めた診療体制を検討することが望まれる。

【解説】本事例では臍帯脱出の診断後、当該分娩機関に母体搬送され、臍帯脱出確認から 37 分後に児娩出となっている。臍帯脱出時の児の予後は臍帯脱出の発生から娩出までの時間に依存するため、迅速な診断および急速遂娩(緊急帝王切開、例外的に吸引

分娩など)の実施が重要となることから、自院での緊急帝王切開を含めた診療体制を検討することが望まれる。

(2) 当該分娩機関

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

臍帯脱出の原因には不明な点が多いが、本事例のように臍帯の下垂のないことを確認し人工破膜実施後に臍帯脱出を起こしたとする報告は他にもあり、その因果関係について、今後も症例を蓄積し、調査・研究を継続することが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。